

環境ビジョン



カシオは、2050年を見据えた長期的な環境経営方針である「カシオ環境ビジョン 2050」を、2012年4月に制定しました。また、中期的な行動指針である「カシオ環境宣言 2020」を同時に制定し、持続可能な社会の実現に向けてグローバルに活動を推進し、環境先進企業を目指します。

トップコミットメント

カシオは、小型・軽量・薄型・省電力技術をコアコンピタンスとしたモノづくりにより、省エネ、省資源を実現し、地球環境保全と持続可能な社会の発展を目指します

カシオは、「カシオ環境ビジョン2050」を掲げ、2050年に向けた環境経営の目標を明確にし、活動しています。また「カシオ環境宣言2020」では、マイルストーンとしての2020年に向けた活動方針を提示しています。これらのビジョン、環境宣言では、カシオが重要と考える3つのテーマ（低炭素社会の実現、資源循環型社会の実現、自然との共生／生物多様性の保全）を掲げています。これらの活動を通じて、コンプライアンスの遵守、ブランド力の向上、商品力の向上を図り、お客様、お取引先様を含むさまざまなステークホルダーからの要請に答えていきたいと考えています。

●低炭素社会の実現

2014年4月には、政府の新しい「エネルギー基本計画」が閣議決定され、今後、2015年末にフランスのパリで開催されるCOP21に向けて、2020年以降の地球温暖化対策の新たな目標とその国際枠組みなどが協議される予定です。

先行した国内の取組みとして、2013年4月より、経団連の「低炭素社会実行計画」がスタートし、カシオも参加を表明しています。エネルギー使用量原単位で、2020年まで年平均1%を削減するために、積極的な省エネ活動に取り組んでいます。また、今年度、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を把握するために、いわゆる「スコープ3」の算定範囲を該当する12カテゴリに拡大して算出し、開示します。これにより、カシオの事業活動に関連した「スコープ1、2、3」それぞれのCO₂排出量を可視化することで、さらなる削減につなげていきます。

一方、再生可能エネルギーの導入については、グループ各拠点での太陽光パネルの設置などの検討を継続して実施します。

●資源循環型社会の実現

小型・軽量・薄型・省電力のモノづくりを進める中で、環境適合商品として、カシオが定める「より高い基準」を満たす商品をカシオグリーンスター商品として位置づけ、商品の売上げ比率を2014年度に50%とする目標を掲げて、推進中です。

また、従来から、資源有効利用促進法に基づくパソコン、二次電池のリサイクルを始め、ページプリンタのトナー／ドラムセット、ネームランドカートリッジの自主回収に取り組んできましたが、2013年度からは、新たに小型家電リサイクル法への対応のため、リサイクル性を向上させる製品仕様の要求レベルを定め、製品開発、設計工程での対応にフィードバックをかけ、改善対策を継続的に実施しています。

●自然との共生／生物多様性の保全

カシオは、2011年3月に「カシオグループ生物多様性ガイドライン」を発表し、その中で、製品にかかわる事業領域 および 事業所、工場での立地にかかわる生物多様性の保全を目的として 影響度評価の実施を目標に掲げています。この内容に基づき、2012年度からはパイロット調査として「紙」にかかわる影響度調査を実施しています。今年度は、調査範囲を拡大し、カシオ製品に使用している取扱説明書、パンフレット類、またオフィスで使用するさまざまな紙製品が、生物多様性の保全に問題の無いことを確認するとともに、調達方針を策定することにより、生物多様性への配慮を継続していきます。

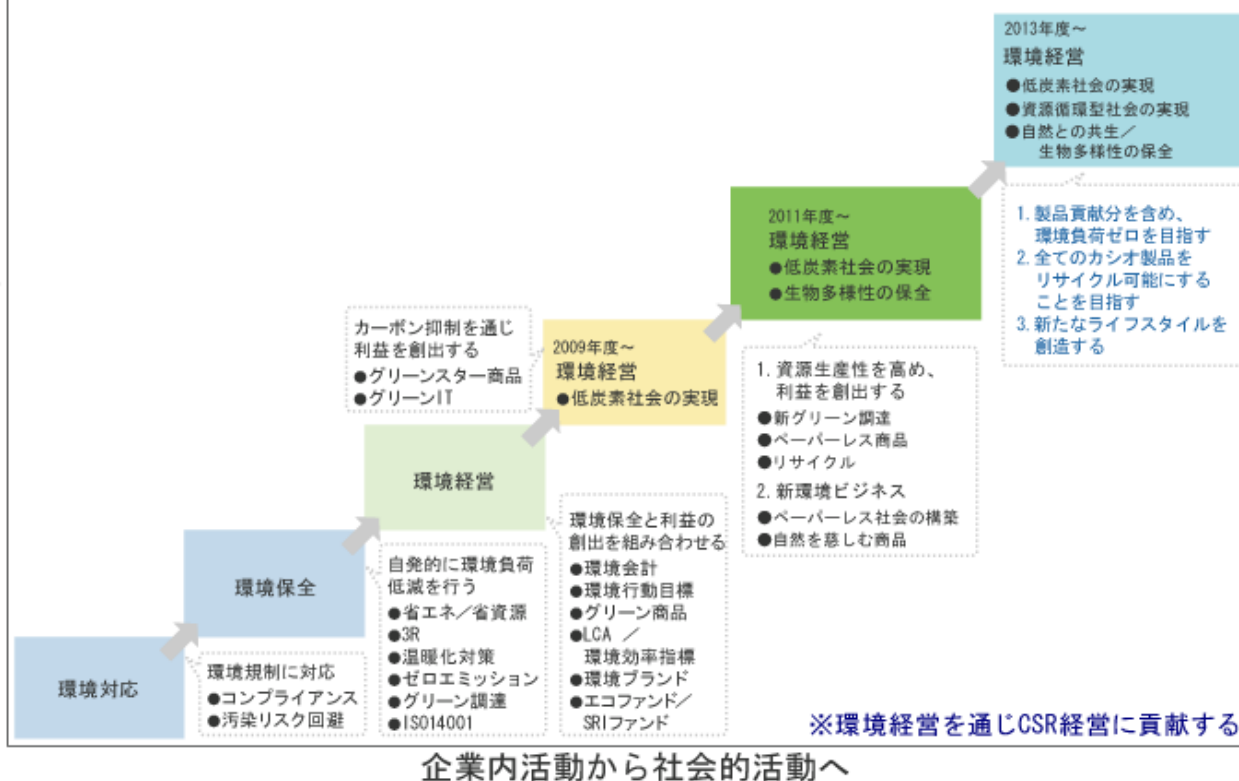
●最後に

カシオは、グローバルに事業展開を行っています。小型・軽量・薄型・省電力である製品づくり、さらには、ペーパーレスを実現する製品づくりを通じて、独自の環境経営施策を実行していくことが重要であると考えています。これらの活動を通じて「環境先進企業 カシオ」としてのブランド力向上を進めていきます。



取締役 専務執行役員 榎尾彰

環境経営への要求度



「低炭素社会の実現」においては、2013年度において、経団連、および電機電子業界の次期実行計画への目標登録、スコープ3の範囲拡大、およびカーボンフットプリントへの対応を行いました。2014年度には、次期実行計画の着実な推進とともに、スコープ3の精度向上、そして2015年度には、環境負荷ゼロを目指していくための施策立案を行います。

「自然との共生、生物多様性の保全」に関しては、「カシオグループ生物多様性ガイドライン」に基づき、2013年度には事業活動で使用する紙について、生物多様性に対する影響度のパイロット調査を実施しました。2014年度には国内における紙の調達方針を策定し、2015年度には、それまでの状況も踏まえて、生物多様性への影響度を削減する施策を検討して、重要なものから実施していきます。

これらの取り組みを通じ、持続可能な社会の実現と共に、環境先進企業カシオの基盤強化を積極的に進めていきます。

2014年度環境経営方針「持続可能な社会の実現に向けて」

環境先進企業カシオの確立を目指した事業活動と製品貢献を積極的に推進する

1. 低炭素社会の実現

CDPなどの外部格付け調査でのレベルアップを通じて、ブランド力の向上を目指す

- ・スコープ3への取り組みの拡大、深堀り、精度向上を行い、自社以外も含む間接的CO₂排出量を算出して公開する
- ・再生可能エネルギー（太陽光発電パネル）の利用の検討を行う

2. 資源循環型社会の実現

商品力の強化と法令遵守を行う

- ・グリーンスター商品開発：小型、軽量、薄型、省電力技術を強化する
（売上比率目標：2014年度に50%、実績：2012年度で47%）
- ・小型家電リサイクル法への対応：再資源化しやすい商品づくりを継続する

3. 自然との共生／生物多様性の保全

NGOなどを始めとする社会からの要請への対応を行う

- ・環境破壊を伴う森林伐採を行わない「紙」を調達するため、紙に関する影響度調査を拡大し、国内における紙の調達方針を決定する

カシオ環境ビジョン 2050 と カシオ環境宣言 2020

「カシオ環境ビジョン 2050」と「カシオ環境宣言 2020」は、カシオを取り巻く社会状況の変化に対応し、環境経営をさらに進化させていくために、それぞれ「カシオ環境ビジョン」と「カシオ環境宣言」を2012年4月に改訂したものです。

カシオ環境ビジョン 2050

2050年に向けて、カシオグループは、地球の財産である「エネルギー」「資源」「生物」の持続可能な利用と共生について、独自の取り組みを考え、実行します。

新しい価値観やライフスタイルを、今までにない市場や文化として創造し、人々の心の豊かさと健全な地球環境の持続に貢献できる 環境先進企業 を目指します。

環境先進企業・・・「0→1」を生み出すカシオ、その斬新な発想と先進の技術力に基づいた製品やサービスの創造および環境活動を通じて

- ・低炭素社会の実現
- ・資源循環型社会の実現
- ・自然との共生

に貢献していきます。

2020年に向けた行動指針

1. 低炭素社会の実現

カシオグループは、CO₂の削減や吸収に、より一層貢献する製品やサービスを提供していきます。

また、太陽光・風力・水力などの人と地球にやさしいエネルギーを利用する製品やサービスを拡大していくとともに、これらの再生可能エネルギーを事業活動に取り入れていきます。

2. 資源循環型社会の実現

カシオグループは、地球の貴重な財産である物質・材料、水の効率的な利用、代替および再利用を図り、資源生産性をさらに高めていきます。

3. 自然との共生

カシオグループは、生物多様性の保全活動を通じて、地球を大切にする心を育み、自然循環と事業活動の調和に取り組んでいきます。